

WEEKLY REPORT

2024-25年度
国際ロータリーのテーマ

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL：052-211-3803

FAX：052-211-2623

MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)11月10日

会長：大嶽 達郎

幹事：近藤 茂弘

クラブ広報委員：今川 知也

例会日：毎週木曜日 PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2024-25年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーを考えよう」

～より良い瑞穂ロータリーのために～



第2124回例会

～水と衛生月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2025年3月6日(木) 晴 第28回例会

司会：加藤直大 会場委員
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：Darian Ashlee Gore 様

会長挨拶

大嶽達郎会長

皆様こんにちは。3月はロータリーの水と衛生月間です。それに関連して、今日はトイレのお話をいたします。世界で最も古い水洗式のトイレは、今から4000年以上前の古代メソポタミア文明の遺跡から発見されました。



日本では縄文時代の貝塚からトイレ跡が発見されていて、川岸に木の杭を打って、その上に板を渡した栈橋のようなものだったと考えられています。

その後進化してその上に屋根をかけ、小屋を作ったものが、かわやです。日本でも世界でも、昔は川に直接流していましたが、ロンドンでコレラが流行し、衛生観念が根付き始めると、19世紀半ばから下水道が造られ、ヨーロッパ各国やアメリカなども下水道が整備されるようになりました。

日本では明治時代に、東京に初めての下水道がつくられましたが、ほとんどのトイレは汲み取り式(ぼットン便所)でした。その後、下水道や浄化槽の整備が徐々に進んでいき、名古屋でも大正元年から、供給が始まりました。

同じころ、日本陶器(ノリタケ)の研究所で、日本で最初の洋式便器が作られました。TOTOの前身です、当初は普及せず、ほとんど和式便器でしたが、戦後1960年代、高度経済成長期に入ると、洋式便器が、公団住宅に採用され、一般家庭にも急速に普及していきました。そして、近年は「和式トイレ」の施工例はほとんどなくなりました。現在、和式便器は、台湾での需要、生産が多く、日本の便器メーカーが台湾で作り、逆に台湾から日本へ輸出しているそうです。

また「洋式トイレ」にとっての大きな変革に「お尻を洗う」便座があります。当初は、米国から輸入して販売をスタートしました。最初は主に、痔に悩む人などの医療用として使われていました、輸入から3年後の1967年には伊奈製陶(LIXIL)、続いて東洋陶器(TOTO)が、日本製の温水洗浄便座を発売しました。これも当初は全く売れませんでした、研究開発を重ね、また1982年のテレビコマーシャル、その年の流行語にもなりました「おしりだつて、洗ってほしい」で一気に広まっていきました。

近年では「温水洗浄便座」など先進的な日本のトイレは、海外でも注目されています。日本の衛生的なトイレがどんどん世界に広がっていかばと思います。世界では約23億人、人類の3人に1人がトイレへのアクセスを持っていないと言われています。

ここ10数年、ロータリーの支援も含め、いろいろな支援活動によって、かなり改善されているとのことですが、いまだに、約9億人が日常的に野外排泄を行っていて、そこから不衛生な環境ができ、1日数千人が亡くなっているということです。まだまだ支援が必要ということです。

RIのホームページを見ましたら、水と衛生に限らず、さまざまなロータリーの奉仕活動が、USAID(米国国際開発庁)とパートナーシップを組んでプロジェクトを行っている、とありました。ご存じのように、トランプとイーロンマスクによってUSAIDは閉鎖されました。人道支援は続けられるとの話もあります。今後の動向が気になるところであります。

出席報告

大和直樹 出席委員

会員69名 出席49名(出席計算人数59名)

出席率 76.56%

ニコボックス

大和直樹 ニコボックス委員

- ・ 本日は家内の誕生日で還暦を迎えました。綺麗なお花をありがとうございます。 鳥山 政明さん
- ・ 3月16日は誕生日です。満81歳になります。 伊藤 豪さん
- ・ 先日、鈴木伸一さん、岡部先生にはお世話になりました。また、鈴木さんには美味しい中華をご馳走になりありがとうございます。松波 恒彦さん
- ・ ダリアンさん今日の卓話楽しみです。また、卒業され、名古屋で仕事をされる場合、いつでもこの例会に来て近況をお話いただければと思います。 市岡 正蔵さん
- ・ 本日は米山奨学生ダリアンさん、最後のインスピレーションスピーチです。皆さんよろしくお祈りします。 森 裕之さん
- ・ ダリアンさん、卓話頑張ってください。 大嶽 達郎さん 関谷 俊征さん 今川 知也さん 長野 義明さん 加藤 直大さん
- ・ 昨夜は、浜松で今川さん、長野さんと楽しい夜を過ごさせていただきました。 杉江 建亮さん
- ・ 先日は職場例会お疲れ様でした。ありがとうございました。 小栗 栄治さん

幹事報告

近藤茂弘幹事

- ・ 3/6(木) 第5回クラブアッセンブリー・第9回理事会 13:40～ ヒルトン名古屋 4F「杉の間」
- ・ 3/11(月) IAC例会 16:30～瑞穂高校社会科室 担当:田中良知さん、小栗栄治さん
- ・ 3/13(木) R規定により休会
- ・ 3/14(金)～16(日) 台北延平RC創立48年記念式典
- ・ 3/20(木・祝)R規定により休会
- ・ 3/27(木) IAC年間活動報告(軽食日) 12:30～ ヒルトン名古屋 4F「桜の間」 新旧会長、副会長、幹事懇談会 13:40～ ヒルトン名古屋 4F「杉の間」

米山功労賞



落合 徹哉さん 荻野 達朗さん

2月誕生日おめでとう

岩本 成郎さん 伊藤 豪さん 鈴木 雄三さん 長野 義明さん

奨学金授与

Darian Ashlee Goreさん



台北延平RC記念例会出席の皆さん



来週から台北で行われる48周年記念例会に参加してきます。大嶽会長をはじめ、17名ご家族を含め20名で行って参ります。

卓話

米山奨学生 Darian Ashlee Gore様

皆さん、こんにちは。米山奨学生ダリアン・アッシュリー・ゴアです。名古屋大学国際開発研究科の2年生で、もうすぐ、卒業します。今までほんとにありがとうございました。ロータリーの人たちと色々なことができました。



そして、ロータリーのおかげで、私は充実した教育経験をすることができました。修士プログラムでは、貧困や、いわゆるソーシャルプログラム、環境の持続可能性、グローバルヘルスなど、多くのことを学びました。ロータリーの国際交流の使命は、私が学校で学んでいることの重要性を強化し、深めてくれました。また、ロータリーは私にとって第二の故郷となった日本との深いつながりを与えてくれました。

世界中、国際主義の価値が疑問視される中、国際学生を支援してくださり、本当にありがとうございます。この世界をより平和で受け入れやすい場所にするための皆さんの貢献に、心から感謝しています。

今日は、私の人生を変え、国際開発を学ぶきっかけとなった経験についてお話ししたいと思います。10年前、私はIslamic Relief USAというNGOでインターンをしました。Islamic Relief USAは、開発支援と災害救援を行う組織です。国内や、世界中で食料や医療品を届けています。そこで多くの体験をしました。特に印象に残っている出来事があります。

ある日、IRUSAがガザのために何ができるか、を話し合うために、パレスチナ人ジャーナリストと会いました。ガザと言うのは、中東のパレスチナ国(パレスチナ自治政府)に属する行政区画です。残念ながら、彼らの答えは「ほとんど何もできない」というものでした。2007年からガザ地区の周辺は完全に封鎖されており、食料や医療品を届けることが非常に難しい状況です。ガザは「天井のない監獄」と表現されることもあります。

私が最も覚えているのは、彼らの怒りです。愛する人々を助けられないことへの無力感。彼らのために、私の心は張り裂けそうでした。その時、私はこの紛争についてもっと学び始めました。第二次世界戦後、イギリスはパレスチナの土地を管理する委任統治領とし、国連の分割計画によってユダヤ人とアラブ人の国家が提案されました。

その結果、1948年に75万人のパレスチナ人が家を追われるという「ナクバ大惨事」が起こりました。多くのパレスチナ人が殺され、あるいは強制的に追い出されました。アメリカの資金と軍事支援によって支えられたイスラエルの政策は、今も続いています。西岸地区や東エルサレムでの入植地拡大により、パレスチナの土地はますます分断され、パレスチナ人の生活は困難を極めています。

10月7日にハマスの戦闘員がイスラエルのダンスフェスティバルを襲撃した事件は、深刻な悲劇でした。しかし、貧困と経済的な孤立が不安定さや過激主義を生み出すことを考えなければなりません。ガザを破壊することはこの問題を解決するどころか、むしろ悪化させるでしょう。

これらの攻撃以来、イスラエル政府による報復は壊滅的な状況をもたらしました。国連によると、ガザの家屋の60%以上と道路の65%が破壊されています。さらに重要なのは、過去16ヶ月間に少なくとも4万6千7百7人がガザで殺害され、そのうち約1万8千人が子どもだということです。これは、ガザでは50

人に1人が殺害されたことを意味します。

多くの専門家や人権団体は、実際の死者数はもっと多いと考えています。国連によると、それに加えて、ガザは世界で最も子どもの切断者が多い地域です。それに加えて多くの人が飢えています。

この話題は難しいとはわかってますが、この暴力の問題に取り組みながら、イスラエルの友達もパレスチナの友達もどちらも愛することは可能です。この人々を支えるには一つの選択は援助です。日本はパレスチナへの援助でとても寛大です。世界食糧計画(WFP)は、日本からの4億円寄付のおかげで、2024年のパレスチナでの活動を続けることができました。10月7日から、日本政府は国連やJICAのプロジェクトを通じて、約2億3000万ドルの援助を提供しています。この援助の目的は、経済的と社会的自立を促進することによる平和構築であります。

パレスチナの人々を支援するもう一つの方法は、南アフリカのapartheidヘイトを終わらせるためにも行われたこと、ボイコットです。一人ずつの人間の円には力があります。ボイコットによって、パレスチナの地域で違法に事業を行っていた企業は撤退を余儀なくされ、イスラエルに対して経済的な圧力がかかっています。

この1年間、私はSNSを通じてパレスチナの人々と話し、彼らの家族のために資金を集めるお手伝いをしてきました。意識を高めるために、私はこの歌を作りました。今日は皆さんにこの歌を聴いていただきたいと思います。この歌は、災害の後に瓦礫の中から家族を探す人々の視点で書きました。



例会のご案内

■今週 3月13日 (木) R規定により休会

■次週 3月20日 (木) R規定により休会

■次々週 3月27日 (木) IAC年間活動報告

場 所: ヒルトン名古屋4F 「桜の間」
時 間: 12:30~13:30